

「サービス管理責任者研修：介護分野（事例1）」

<介護分野・前期開催コース：事前課題1-1.1-2に該当>

<在宅生活からやりがい求めて通所事業所へ通い始める方の事例>

1	概要
	<p>K.Kさん 男性、21歳、身長160cm体重68Kg、知的障害・療育手帳A2、障害支援区分4、F市に在住。</p> <p>K.KさんはF市の特別支援学校に通っていたが、平成27年夏(高校3年)より父親の仕事の関係で海外で暮らすことになる。現地では高校や福祉サービスの利用はせず、在宅生活を送っていた為、運動不足気味で夜更かしなど生活も乱れがち。健康診断で肥満を指摘され、食事をコントロールできないのであれば、運動を取り入れることを勧められていた。赴任中、母親が体調を崩した為、父親は海外での事業展開をあきらめ、妹を残して平成30年5月に帰国。</p> <p>帰国後は元居たF市に戻る。その後数か月は福祉サービスを利用せずに在宅で生活していた。しかし、母親は時折めまいを訴える等体調が優れず、本人が楽しみにしている外出の対応が難しくなったことから、外出の確保と、日中を活動的に過ごす場所について、A相談支援事業所に母親が相談を持ちかける。なおK.Kさんは難治性のてんかん発作があるが、現在は薬である程度コントロールされている。</p>
2	<p>状況</p> <p>(1) 氏名・性別：K.Kさん 男性</p> <p>(2) 年齢21歳 平成9年□月○日生</p> <p>(3) 生育歴(出生後の経過、学歴、職歴等) 別紙「記録表」参照。</p> <p>(4) 障害について(詳細は別紙「記録表」参照) 障害名 重度知的障害 療育手帳A2 障害支援区分4 3歳児検診で発達の遅れを指摘される。その頃より、てんかん発作が出現するが、現在は薬によりコントロールされている。</p> <p>(5) 家族状況(続柄、年齢、職業、協力関係等) 父(51歳)：会社役員。海外支社を持つ大手企業に勤務。本人の障害には理解があるが、仕事が忙しくK.Kさんの事は母親に任せている。 母(49歳)：主婦。主介護者。本人第一で愛情を注ぎ育ててきたが、やや過保護な面がある。通所以外の福祉サービスを拒んでいたが、自身が体調を崩してからは移動支援を求める等少し心境に変化がみられている。 妹(17歳)：妹は海外での大学受験に備えて、そのまま現地に残った為、将来的に帰国予定だが、現時点での協力には限界がある。</p> <p>(6) 経済状況(利用者及び世帯の収入状況等) 本人の収入は障害基礎年金。障害基礎年金は手を付けずに生活ができている。 本人の将来を考え、本人名義の通帳に十分な貯金があり、本人の経済状況にはまったく問題ない。</p> <p>(7) 利用しているサービス等と生活サイクル</p> <p>平日は暇を持て余し、午後から昼寝をしてしまい、その影響で夜はゲーム等で夜更かしをすることで、朝はなかなか起きられない。休日は母親と一緒にF市内にある洋菓子屋に行き、その帰りに砂浜に行き大好きな貝殻集めをする事が日課になっている。しかし母親の体調不良が続いており、それに伴う外出機会の減少と、日中を活動的に過ごす場所について、A相談支援事業所に母親が相談を持ちかける。</p>

3 支援の経過

(1) 相談とアセスメント

① 相談受付～平成30年8月A相談事業所から相談

平成30年5月に帰国し3ヶ月が経過した平成30年8月、A相談支援事業所に母親が休日の外出機会の減少と、日中を活動的に過ごす場所についての相談がある。外出機会については移動支援等が検討され、平成30年9月から体験利用を開始している。日中の活動の場については、M生活介護事業所の利用が検討され、9月に5日間の事前実習が組まれた。

② アセスメントの概要～詳細はアセスメント資料を参照～

<これからに向けた本人の意向>

「家に居ると暇なので活動に参加したい」、「細かい作業が得意」、「食事のためには運動をしなければいけない」

<身体状況>

ADLは一部介助や見守りが必要。発作は服薬調整により月に1～2回の頻度でおさまっている。小学校の時に発作による転倒があったが、最近は疲れると自分で椅子に座る等できるため、転倒はなく危険性は少ない。

海外に行く前は体重が55kgと標準的な体重であったが、海外での生活習慣が影響してか、現在は68kgと肥満傾向になっている。

<コミュニケーション>

本人をよく知る人であれば言語によるコミュニケーションがなんとか成立する。

<健康面>

食べる事がとにかく楽しみ。利用に向けた健康診断でも「食べる楽しみをとるのであれば、運動を取り入れるように」と医師から助言されている。以前から本人も美味しいものを食べるためにすべきことは、運動という事は意識しているが、なかなか積極的な運動はできていない。

③ これまでの支援の概要

<家族の支援>

慣れた交通機関であれば1人で通う事が出来るが、それ以外は母親が付き添い外出している。

<M生活介護事業所での事前実習状況>

平成30年9月、M生活介護事業所の利用に際し、連続5日間の事前実習を行う。小学生の頃から妹と電車に乗って買い物に来ていたB駅の側にM事業所がある為、初日のみ母親が付き添ったが、後は電車を使って一人通うことはできた。

実習においては登所途中に砂浜に寄り道して遅刻したり、貝殻をロッカーに溜め込んだり、寄り道で汗をかき着替えに時間が掛かる事があり、職員に注意されることが多かった。

「運動プログラムを取り入れて欲しい」との母親からの要望もあり、午前中は運動効果の高いとされている山道歩行グループに参加するが、ペースが遅れがちで、本人もあまり乗り気ではなかった。

午後は室内活動の為、受注グループで函折りを体験した。細かい作業は好きな様子だが、緊張もあってか笑顔が少なく、同じグループの他利用者とはコミュニケーションが取れていなかった。

隣の自主製品作業班(アクセサリー作り等)の女性利用者Wさんと休憩時間に楽しそうに話していた。Wさんが欠席した際は休憩時間の過ごし方を持て余し、玄関の花壇に咲く花を一人で眺めていた。

クラブ活動のダンスの時間は、他の利用者と夢中になって踊っていた。

【M生活介護事業所】

定員30名 知的障害者が主に利用している。

活動内容

受注作業(函折り作業・部品組み立て作業)、自主製品作業(キーホルダー・アクセサリー作り)

歩行活動(山道コース・浜辺コース)

クラブ活動<<2回/週>>(陶芸活動、ダンス活動)

1. 調査実施者(記入者)

実施日	2018/8/26		
記入者氏名	○本 ○	所属機関	M生活介護事業所

2. 調査対象者

対象者氏名	K.K さん	(男)女)	生年月日	平成9年□月○日生(21歳)
現住所	K県F市			

3. 障害者手帳等級及び程度区分等

障害種別	知的障害	等級及び支援区分	療育手帳A2 障害支援区分4
------	------	----------	----------------

1・生育歴に関わる状況

(生育歴)

F市にて出生し、F市内の特別支援学校に通っていたが、高等部3年生の夏に父親の仕事の関係で家族と共に海外で暮らす事になる。海外では在宅生活をしていたが、約3年間の滞在後、家族の都合で平成30年5月に帰国してから在宅で過ごしていた。

在胎期	期間	10ヶ月	異常	有・無	
	特記事項				
出生時	異常	有・無	特記事項		
乳幼児期	始歩	1才6ヶ月	特記事項		
	発語	3才	特記事項		
	その他特記	3歳児検診で発育の遅れを指摘される。			
学校・施設等の 利用履歴	年月～年月	学校等利用機関名		特記事項	
	平成□年～平成△年	K県立F特別支援学校入学			
	平成△年～平成○年	K県立F特別支援学校高等部3年次中退	海外では在宅生活を送っていた。		

2・健康状態などその他特記事項

(健康・医療) 身長160cm。体重68kg

てんかん…3歳を過ぎた頃から起こる。発作は服薬調整により月に1～2回の頻度でおさまっている。体調が悪くなると自分で椅子に座るなど出来る為、発作等による転倒の危険性は少ない。

・好きな食べ物:カップラーメン・クッキー・プリン・ハンバーガー

3・家族状況

氏名	続柄	特記概要	
K.E	父	父親は本人の障害には理解があるが福祉サービスにはあまり興味がない。仕事が忙しくK.Kさんの事は母親に任せている。	
K.A	母	母親は本人の主介護者。本人第一で愛情を注ぎ育ててきた。海外赴任中から体調が思わしくない。	
K.K	本人		
K.R	妹	妹は海外での大学受験に備えて、家族と離れて海外に残った。将来的には帰国する予定だが、現時点での協力に限界がある。	

【利用者の生活・行動等に関するアセスメント調査1】

領域	項目	支援項目	支援度					特記事項			
			1・支援なし	2・見守り・声掛け支援	3・一部間接支援	4・一部直接支援	5・全支援				
1	生活基盤	1 経済状況	○					障害基礎年金1級			
		2 住宅環境				○		一戸建てに暮らしており、通所施設利用。			
2	健康管理	1 服薬管理				○		親が薬を管理している。渡せば自分で飲める。			
		2 通院					○	定期通院(精神科)			
		3 発作対応					○	現在は1~2回/月			
3	日常生活動作	1 食事摂取		○				食事は自分で食べる。			
		2 排尿			○			トイレの後に手を洗わない事がある。			
		3 排便				○		拭き残しがある。			
		4 歩行	○								
		5 移乗	○								
		6 入浴・洗体				○					
		7 入浴・洗髪				○		洗い残しなど不十分なところも見られる。			
		8 洗顔			○						
		9 衣類着脱			○			身だしなみ、整容が不十分であり、声掛けが必要である。			
		10 履物着脱	○								
		11 歯磨き				○		奥歯など磨き残しは介助が必要。			
4	衛生	1 清潔保持		○				全般にわたり声かけが必要である。			
		2 整容				○					
		3 爪切り				○					
		4 掃除				○		掃除は苦手な消極的。			
5	家事	1 洗濯					○				
		2 調理				○					
		3 その他 育児等						非該当。			
6	社会生活	1 日常の意思決定				○		緊張すると委縮してしまう。			
		2 金銭管理				○		小遣い以外は親が管理。			
		3 財産管理				○		父が年金等を管理している。			
		4 買い物(選択)				○		買い物では財布にあるだけ使ってしまう。			
		5 金銭支払				○		小銭など細かい支払いは支援が必要。			
		6 地元の地理等の理解				○		よく利用する場所は理解している。			
		7 交通機関の利用			○			慣れない場所での利用は不可。			
		8 電話の利用				○		早口の相手だと内容が理解できない。			
		9 持ち物管理				○		ロッカーやカバンに収集した物をため込む。			
		10 予定等の計画				○		1週間のたまかな流れは理解できる。			
7	活動交流	1 意思疎通				○		本人をよく知る人なら意思疎通できる。			
		2 対人関係				○		地元のF市に友達が多い。			
		3 外出活動				○		休日は母親と外出している。			
		4 余暇活動				○		グルメ雑誌購読、テレビ、携帯型ゲーム機			
		5 近隣との付き合い			○			近所の人には顔を知っている。			
		6 就労		○				巧緻性あり。			
8	安全管理	1 火気管理					○				
		2 戸締り					○				
9	その他	1 緊急時対応					○				
		2 家族関係					○	両親と生活しており、妹は別居。			
支援項目			ない	時々ある	ある	支援項目			ない	時々ある	ある
10	問題行動	1 ひどい物忘れ	○				12	支援者の関わりへの抵抗		○	
		2 周りのことに関心			○		13	目的もなく動き回る	○		
		3 物を盗まれた・叩かれたなど被害的になることが	○				14	自傷行為	○		
		4 現実でない話を作話する	○				15	他者に対して暴力行為を行う	○		
		5 幻覚や幻聴	○				16	周囲が困惑する性的行動	○		
		6 泣いたり笑ったり情緒が不安定	○				17	一人で外に出ていくなど目が離せない	○		
		7 同じ話をしたり不快な音	○				18	大声を出す・大泣きするなど著しい騒がしさ	○		
		8 他人のもの等を盗む等	○				19	物や衣類を壊す行為	○		
		9 いろいろ集めたり無断で持ってくるなどが	○				20	故意と思われる尿・便失禁することが	○		
		10 昼夜逆転・睡眠の乱れ	○				21	不潔な行為(便をなすりつける等)	○		
		11 周囲が予測できない急な飛び出し	○				22	食べられないものを口に入れることの状態	○		

【利用者の生活・行動等に関するアセスメント調査2】

				利用者氏名	K.Kさん
項目	内容	チェック(○・×)	特 記		
7・1 意思疎通の方法について	意思伝達	話し言葉意思伝達する	○	本人独自の言葉や表現に慣れないと理解しづらい。	
		サインやカードで伝達する	非該当		
		身振り手振りで伝達する	非該当		
		動くことによって伝達する	非該当		
		実物を示して伝達する	非該当		
		その他	非該当		
	理解について	時間の概念	○	30分単位等大まかな時間は理解できる。	
		毎日の日課	○	大まかな活動内容なら答えられる。好きな役割に対しては時間に正確。	
		生年月日や年齢を答える	×		
		自分の名前を答える	○		
		自分の名前を書く	○	平仮名ならば書ける。	
		自分の今いる場所を答える	○		
		自分の住所	○	大まかな地名までで、番地までは不可。	
	相手の言葉の理解	理解できる	○	早口だと理解できないので、ゆっくりと丁寧に伝える必要あり。	
		ところどころ理解する	非該当		
会話・言葉が通じない		非該当			
読字について	・漢字 ・カタカナ ・ <u>ひらがな</u> ・数字 ・理解できない				
7・2 余暇・趣味	項目	内容	チェック(○・×)	特 記	
		趣味など楽しみにしていること	○	外出。貝殻集め。電車を見る事、乗る事。花への水やり。携帯ゲーム機でゲームをする事。	
		現在参加しているレクリエーション	×		
		現在楽しみにしている外出先	○	休日に洋菓子屋に行き、浜辺で貝を拾う事。	
		現在参加している当事者団体活動もしくは各種社会的活動	×		
		傾聴ボランティアなどの関わり	×		
		その他			
9・家族状況特記事項	主たる介護・援助者の状況	主介護者は母親で本人に対する愛情が深い。 他に父親が同居している。妹は国外に住んでいる。			
	介護・援助上の問題点	今は生活が乱れて朝がなかなか起きられないが、学校に通っていた頃は比較的早起きだったとの事。まずは生活リズムの立て直しを直近の課題として考えている。			
	家族関係および障害の理解	家族は本人の障害に対しての理解はある。母親は福祉サービスへの知識は多少あるが、本人と離れたくない気持ちがあった為、通所系のサービスにししか興味を示さなかった。しかし最近になって母は自分の体調不良が気になり、少しずつ心境に変化が表れ移動支援の利用希望に至った。			
で10 特記行事動 項面	性格	優しく親和的。			
	情緒面	基本的には穏やかだが、頑固な一面もある。			
	こだわり等	特になし。			
	パニック等	特になし。			
M生活介護事業所での実習状況と現在の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・実習時、運動プログラムを取り入れて欲しいとの母親からの要望もあり、午前中は運動効果の高いとされている山道歩行グループに参加するが、ペースが遅れがちで、本人もあまり乗り気ではなかった。 ・午後は手先が器用なため受注グループで函折りをを行う。作業能力的には、その他の作業にも適応できそうな様子があった。作業中は慣れていない事もあってか、他利用者との会話や笑顔は少なかった。 ・隣の自主製品作業班の女性利用者Wさんとは幼馴染みで高校も一緒だったため、休憩時間等は会話する場面があった。 ・週2回あるダンス活動の時間は、他の利用者と楽しそうに踊っていた。 ・休日はヘルパーと外出できる事を、嬉しそうに職員に話している。 				
本人・家族の意向	「家に居ると暇なので活動に参加したい」(本人) 「細かい作業が得意なので何かしたい」(本人) 「活動に運動を取り入れて欲しい」(母親)「食事の為には、運動をしなければいけない」(本人)				
サービス管理責任者の所見	在宅生活が長かった為、サービス利用の際には丁寧な導入が不可欠。まずは毎日通いながら生活リズムを整え、並行して本人の得意な活動を通して事業所に通う。できれば運動等を上手に取り入れて本人の健康にも配慮していきたい。				

申請者の現状(基本情報)【現在の生活】

利用者氏名(児童氏名)	K.K	障害支援区分	区分4	相談支援事業者名	A相談支援事業所
-------------	-----	--------	-----	----------	----------

	月	火	水	木	金	土	日・祝
6:00							主な日常生活上の活動 ・自宅では、テレビを見て過ごしている事が多い。 ・朝は8:00に起こされているがなかなか起きられずに9:00頃に起きてくる。 ・花に水をやる事は本人の役割で、楽しみでもある。朝食後は時計を気にして、10時ちょうどに水やりを行っている。 ・22:00頃に布団に入るが、昼寝の影響から、なかなか寝付けずに寝床で0時頃までゲームをしている。おなかがすいてしまい間食をする事もある。 ・週末に出かける事を楽しみにしており大好きな電車に乗って母親と買い物や海を見に出かけている。
8:00						9:00頃 起床	
10:00	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 25px; padding: 10px;"> <p>9:00頃起床 9:30 朝食 10:00 朝食後に玄関の花に水をやる事が家での役割になっている。</p> <p>12:00 昼食</p> <p>日中はテレビや雑誌を見て過ごす。 昼食後は昼寝をする。</p> <p>18:00 夕食 19:30頃 入浴</p> <p>22:00頃 入床するがなかなか寝付けずに床でゲームをして0時頃に入眠する。</p> </div>					9:30頃 朝食	週単位以外のサービス 母親と共に月1回定期通院に通っている。
12:00						母親と外出する。	
14:00						昼食は外食する事が多い。	
16:00							
18:00							
20:00						19:00 夕食 19:30頃 入浴	
22:00						22:00頃 入床 外出した日は寝入りも早い。	
0:00							
2:00							
4:00							

サービス等利用計画・障害児支援利用計画

利用者氏名(児童氏名)	K.Kさん	障害支援区分	区分4	相談支援事業者名	A相談支援事業所		
障害福祉サービス受給者証番号	12234455			計画作成担当者	○木○男		
		通所受給者証番号					
計画作成日	平成30年9月1日	モニタリング期間(開始年月)		利用者同意署名欄			
利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	(K.Kさん)M事業所で活動したい。休日は外出をしたい。 (家族:母)日中暇を持て余しているので活動や外出を通じて楽しみのある生活を送って欲しい。						
総合的な援助の方針	K.Kさんが楽しんでM事業所に通えるように支援します。						
長期目標	M事業所に通いながら、やりがいのある活動に参加しよう。						
短期目標	M事業所に通い仕事を楽しむ。週末は、外出を楽しもう。						
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	毎日M事業所に休まず通いたい。	生活リズムを整え、M事業所に通えるように支援します。	1年	M生活介護事業所 23日/月	夜は早く寝る等生活リズムを整えていきましょう。	1ヵ月	M事業所に利用時の様子確認。
2	M事業所でやりがいのあ活動がしたい。	様々な活動参加を通して充実した生活が送れるように支援します。	1年	M生活介護事業所 23日/月	様々な活動に積極的に参加しましょう。	1ヵ月	M事業所に利用時の様子確認。
3	休日は外出したい。	趣味を大切にしながら、休日を楽しんでいただきます。	1年	A相談支援事業所 C移動支援事業所 24H/月	どんなことがしたいのか、どこに行きたいのか、相談しましょう。	1ヵ月	
4							
5							
6							

サービス等利用計画・障害児支援利用計画【週間計画表】

利用者氏名(児童氏名)	K.K	障害支援区分	区分4	相談支援事業者名	A相談支援事業所
障害福祉サービス受給者証番号	12234455	利用者負担上限額		計画作成担当者	〇木 〇男

計画開始年月 平成30年9月1日

	月	火	水	木	金	土	日・祝				
6:00	7時ごろ 起床					7:00頃 起床					
8:00	8時朝食 8:30通所										
10:00	9:00 頃 登所 9:30~15:00 日中通所 (M生活介護事業所)にて活動					月に5~6回は移動支援を使い外出する。 昼食は外食する 移動支援					
12:00								12:00 昼食			
14:00											
16:00	16:00 帰宅。テレビや雑誌を見て過ごす。 18:00 夕食 19:30頃 入浴					19:00 夕食 19:30頃 入浴 22:00頃 入床					
18:00											
20:00											
22:00											
0:00											
2:00											
4:00											

主な日常生活上の活動
平日は、M生活介護事業所に通う。
週末は移動支援を活用し外出する。

週単位以外のサービス
母親と共に月1回定期通院に通っている。

サービス提供によって実現する生活の全体像
日中の活動場所としてM生活介護事業所に通う事で、本人にとっての楽しみややりがいの機会をふやしていく。その結果として、生活習慣がある程度改善される事が期待できるが、食事制限を行わない為にも本人の意欲を上手に引き出しながら、運動プログラム等を入れていけると尚良い状態になる事が予想される。
週末は本人のペースに合わせてながら移動支援を使い外出する事で、余暇の充実と家族の介護負担の軽減をはかる。